

熊本地震支援・日程表

8月18日(火)

- 11:50 阿蘇熊本空港着
- 13:00 100年ボンドにて昼食
- 14:00 コミュニティ農園見学・意見交換
(三圃転換畑、市民農園区画、薬草園、果樹)
- 17:00 宿泊施設チェックイン

8月19日(水)

- 9:00 出発、移動
 - ・国道3号線を南下
 - ・宇城市内被災状況視察
 - ・松橋町(宇城市の中心地)から県道
 - ・車上から氷川町、鏡町の被災状況見る。
- 11:20 八代市妙見の『とら太の会』事業所着、『R8年熊本地震被災地障害者センター』事務局長の東俊裕弁護士より被災状況、支援活動について聞く。
- 14:00 紺屋本農園見学
(米+トマト+肥後グリーンメロン)、
水田用水路の損壊、冬場暖房用石油タンクの損壊、
周辺農家の被災状況を見る。
紺屋本稔さんは熊本県農民連の役員。
- 15:00 水俣病記念館
- 16:00 帰路、崩落した麦島橋、八代城石垣、日本製紙八代工場、
国道3号線沿いの被災状況見ながら熊本市内へ
- 18:30 和数奇司館帰着

8月20日(木)

- 9:00 前回地震の阿蘇周辺へ
- 15:00 菊陽町のTSMC 半導体工場周辺視察
空港へ移動 悪天候のため欠航 熊本市内泊

8月21日(金)

- 9:00 上天草市大矢野産直センターへ
- 11:30 大矢野産直センター松田さんと懇談
- 13:00 大矢野産直センターのミカン園視察
- 15:00 熊本空港着 悪天候のため2時間遅れで伊丹へ
- 20:30 福島空港着



大矢野産直センターの会員さんのミカン畑。
どんどん、ミカン畑が放棄されている。



「とら太の会」で、東事務局長と。



九州自動車道 八代市上方町 道路が寸断。



右から3人目、紺屋本さん。
燃料タンクが壊れ、ハウスの中は液状化でトマトの作付けが遅れる。

被災者・弱者が置きざりにされる被災地を目の当たりにする。 福島県農民連・熊本地震支援へ行く

8月18日から熊本地震支援の第一陣として熊本へ。福島県農民連から根本県連会長。あだたら食農Schoolerファームから近藤匠さん。障害者施設の竹島真二さん加藤慎さんが参加しました。

熊本県農民連の支援組織がまだ、出来上がっていないので、元熊本県農民連の事務局長だった宮田喜代志さんに現地の案内をお願いしました。宮田さんは、障害者施設の運営と「農福連携」のパイオニアとして活動されています。

まず、訪れたのが「100年ボンド」農福連携で障害者の自立をめざす組織。熊本市内は、地震の被害は見受けられませんでした。でも、障害を持つ人たちの地震への「不安」は私たちが考える以上のものがあります。



宇城市内の倒壊した家屋。
耐震のない日本家屋が多く被災

8月19日 国道3号線を南下。宇城市内へ。屋根に青いビニールシートが点在する。でも、国道は車の往来は渋滞はあるがまあ動いている。車窓からは市民の「苦しみ」を把握することはできない。

『とら太の会』事業所。障害を持つ人たちとスタッフがかき氷を作って「笑顔で」迎えてくれた。『R8年熊本地震被災地障害者センター』事務局長の東俊裕弁護士が応対。彼自身障害者。目が優しい。障害者の権利と自立のために気負うことなく奮闘する姿に感動。

『とら太の会』を後にして、農民連会員の紺屋本稔さん宅へ。地震の時、立っていられず四つん這いでおさまるのを待った。トマトのハウスの重油タンクは倒れた。ハウスの中も「液状化」でトマトの定植を遅らせている。

「いまどんな支援が必要ですか」と聞く。
「いろいろ物資も必要だし、水や電気の復旧も大事だが、こうして俺たちの話を聞いてくれることが、うれしい。」

訪問した全員の目が紺屋本さんの姿にくぎ付けになった。

「苛政は虎より猛し」

悪天候による欠航のため、翌日、上天草の大矢野産直センターへ向かう。天草の海岸の絶景を堪能。大矢野産直センターの松田事務局長の案内でミカン園を見る。「ミカンは、急斜面なのでほとんどミカン園がなくなつてゆく。悲しいが、とるべき手段がない」

地震などの自然災害よりも「人災」の痛手の大きさは、はるかに人間を痛めつける。

熊本支援に参加して

竹島真二(就労支援事業所理事)

熊本地震の被災地支援のため、熊本県を訪問。障がい者施設や生活介護の事業所を訪問させて頂き、現地の被災状況を視察しました。瓦屋根が大きく崩れ落ち、家屋が倒壊した瓦礫の様子から、被災の深刻さと悲しい環境を目の当たりにしました。障害のある方々が直面する困難を実感し、支援の必要性を強く感じました。被災者の皆様の一日も早い復興を願っています。

農民連フラッシュ flash

原発ゼロ、再エネ転換で希望の未来を

「原発ゼロと住民本位の復興を求める8・30ふくしま集会」が福島市のパルセ飯坂で開かれ、1500人以上が参加しました。原発依存への回帰や中部電力など電力会社の不正、除染土壌処分問題が続く中、県内外から「原発ゼロ」を求める声が集まり、大きな広がりを見せた集会となりました。



青年部・夏の学習交流会

8月20日～21日、和歌山県紀の川市で全国青年部主催の「夏の学習交流会」が行われ、福島県から4名が参加しました。訪問した紀ノ川農協は、就農希望者の研修を行うトレーニングファーム部会「ふたば塾」を設置し、就農支援に力を入れています。研修受入れ農家と研修生の皆さんの未来を見据えた取り組みに大きな刺激を受けました。



オンラインから購入できます！



有機玄米
コシヒカリ



会津産小麦100%
そうめん

化学農薬と化学肥料を使用していない有機JAS認証取得のお米です。自然の栄養素がたっぷり含まれた美味しいお米をぜひお楽しみください！

福島県会津産小麦100%のそうめん。これからの暑い季節にぴったりです。

下記QRコードからご注文できます！



BASE



楽天